

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)				
市町村名	佐久市		箇所名	(一)三分中込線 三分平賀			事業年度	(完了年度は見込み)		年度～	年度	
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路築造工 L=3.5km W=6.0(10.0)m					H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容						用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残					
	事業費計(千円)	800,000		0	0	0	800,000					
財源内訳	国庫支出金	440,000		0	0	0	440,000					
	その他											
	県債											
	一般財源	360,000		0	0	0	360,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課	
								ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上～10,000台/日未満	1,500台未満		B	2	B	2
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある		0		0		
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある	駅やインターチェンジに通じる路線でない			5		5
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			2		2
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない		0		0		
			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)			5.5m以上6.5m未満(幅員)	6.5m以上(幅員)			2		2
		歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し			4		4
	小計							15	15			
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	該当なし		6	6		
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い	環境配慮をしていない		B	2	B	2
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている	特別な位置づけはない		0	0		
		小計							8	8		
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満	B/C 1.0未満		6	6		
		事業効果の早期発現(H20以降残事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年～10年未満	事業年数 10年以上		A	3	A	3
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	コスト縮減はしていない		4	4		
	小計							13	13			
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない		9	9		
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	渋滞対策ではない		A	4	A	4
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		9	9		
	小計							22	22			
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望	特に要望がない		3	3		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知	特に周知していない		C	0	C	0
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない		4	4		
小計							7	7				
費用対効果(B/C)		1.77			評価の合計				B	65	B	65
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、南佐久郡と佐久地域を結ぶ千曲川右岸の補助幹線道路である。本路線の南側は海瀬～羽黒山B P及び入沢～三分B Pにより整備され、将来交通量の増大が予想される。しかし、入沢～三分B Pの北側終点は、下仁田白田線の人家連担の歩道のない狭隘部分とのT字交差点であり、佐久方面への大型車の通行に支障をきたすことが危惧されており、その先線の整備が求められている。										
	地域からの要望経緯	毎年開催される佐久市との意見交換会など、様々な機会において要望を受けている。										
	事業説明等の経緯	平成23年度に入沢～三分B Pが完了予定であり、地元説明会等において、先線計画について説明を求められており、今後地元計画を提示していく予定。										
	環境・景観への配慮項目	農道を最大限利用するなど、環境上の配慮を計画していく予定。										
	他事業・プロジェクトとの関連	長野県中期総合計画(調査検討)に位置付けられている。										
特記事項	特になし。											
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他							
部意見	効率性、緊急性の評価レベルは高い。今後計画熟度を高め、事業化を検討したい。					政策評価課	意見 計画熟度がやや低い。					